

二 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、句読点やかっこなどの記号も字数として数えます。
(設問の都合上、原文の表記を一部改めたところがあります。)

二〇〇三年十月、日本最後のトキが死亡した。ある生物が地球上から消え去ってしまうという事実は心に訴えかける力がある。少しソウルウ力のある人なら、トキの絶滅を招いたのは、環境変化だろうというふうに思いたるだろう。実際にはトキのように個体数が減ってしまった生物を何羽か増やしたところで、もたら棲んでいた場所には帰せない。絶滅しそうな生物を保護しても、自然というシステムからはすでに切り離されている。①自然というシステムから見れば、絶滅したのと同じことである。

②絶滅の危機を叫ぶと、逆にその意味が薄れる可能性がある。具体的には、トキの保護に懸命な皆さんのようすが報じられると、「なぜあんなに必死になるのだろう。トキが死に絶えたって、人間の生活に関係ないよ」と考える人も出てくるはずである。メダカも同じである。メダカが絶滅しそうだといわれても、「童謡には歌われているけれど、食料になるわけでもないし、絶滅したって困らない」と考える人もいると思う。こういう発想が出てくるのは、ある生物が絶滅しても、それが自分にどう跳ね返ってくるか、それが見えないからである。

じつは③そこに多様性の意味がある。自然はたくさんの構成要素が複雑に作用しあうキョダイなシステムである。システムというものは本来、それを壊そうとする力が働いても動かない、④安定なものである。ある生物が絶滅しても、なにも起こらないようにみえるのは、自然というシステムがいわば「自動安定化機構」をもっているからである。(A)、システムにも弱点はある。いわば思いがけないところをつかれたとき、一気に崩壊することもありうる。ピストルの弾ですら、人を殺すのである。

トキが自然界から⑤隔離されても、いまのところ、自然というシステムはさほど影響を受けていない。しかし別の生物だったら、⑥破綻にいたることがあるかもしれない。それは、トキがシステムにとつて重要でなく、別の生物が重要だという⑦意味ではない。⑧自然というシステムは、たくさんの生物が影響しあつて、ピミョウなバランスを保っている。(B)、どれかが欠けたときにどんな影響が現れるかは、よくわからない。そのときの状況によって左右されることもあるかもしれない。いまの場合、トキの影響は目に見えるほどではなかったが、別の条件の下だったらもっと深刻なdシタイを招いたかもしれない。(C)、長い時間が経ったあとで、大きな影響が現れるかもしれない。システムを構成するなにかが欠けたとき、どんな影響がいつ現れるかは、予測がつかない。

これを逆向きにいうと、システムを構成する要素は、システムを維持するためにいつもなんらかの役割を果たしている可能性があるということになる。だから、システムの構成要素をいたずらに減らすことは慎むべきなのである。⑨自然の構成要素である生物の多様性を保つ必要があるのは、そのためでもある。

(養老孟司『いちばん大事なこと』)
※童謡…子どもが口ずさむ歌。
※多様性…いろいろな種類や傾向のものがあること。
※隔離…へだてること。へだてて離すこと。
※破綻…物事が修復しようがないほどうまく行かなくなること。行き止まりのこと。

問1 Ⅱ aくdのカタカナの語を漢字で答えなさい。

a	b
c	d

問2 Ⅰ①「自然」の対義語を答えなさい。

問3 Ⅰ②「絶滅の危機を叫ぶと、逆にその意味が薄れる可能性がある。」とありますが、なぜですか。その理由として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 保護の必要性を主張するたびに、行き過ぎた保護政策が行われてしまうから。
- イ 私たち人間にとつては、絶滅の危機にある生物のことはどうでも良く、日常の生活が最も大事なことだから。
- ウ 保護された生物は、すでに自然からは切り離されていて、絶滅したのと同じようなものだから。
- エ 生物の絶滅の危機を訴えかけることにより、かえって自分たちの生活に影響がないと思われるから。

問4 Ⅰ③「そこ」が指し示す内容を、本文中の語句を用いて四十五字以内で答えなさい。

問5 Ⅰ④「安定・⑤「意味」について、否定語と組み合わせる熟語を作るとすれば、「不・無・非・未」のうちどれが適当ですか。それぞれ一字ずつ選び、解答らん書きなさい。

④	
⑤	

(A)そこを見られたら、失神したふりをするしかなく、もう

ア もしも
イ かえつて
ウ あるいは
エ ところが
オ どうして
カ もしくは

応

[illegible]

[illegible]

問八 ―⑥「やめた」とありますが、筆者がこのように思うのはどのような考えがあるからですか。本文中の語句を用いて五十五字以内で答えなさい。

[illegible]

4 3 2 1
☐ 二の☐を踏む
☐ にどろを塗る
☐ 開いた☐が塞がらない
☐ に入れたも痛くない

[illegible]